



9/17 草原再生の活動に特別賞

池ノ窪牧野組合

「阿蘇草原再生協議会」が南阿蘇畜産協同組合家畜市場で行われ、過去3年間に同協議会で奨励賞を受賞した活動の中で、草原再生への貢献が特に顕著な活動を行った「池ノ窪牧野組合」（中松・河陽地区）が特別賞を受賞しました。同組合は、ヤブ化した草原の再生による放牧面積の拡大させた活動が認められての受賞となりました。

組合長の大塚恵志さん（中松三）は、「有畜農家の高齢化と組合員の減少により、今だからこそできた事業でした。今のうちに色々と整備を継続的に行っていきます」と、受賞の喜びを話されました。



表彰状を手にされる大塚恵志組合長

9/14 差し押さえ物件を公売

第1回阿蘇管内合同公売会

平成26年度第1回阿蘇管内合同公売会が西原村構造改善センターで行われました。

村では納期限内の納税者との公平性を保つため、滞納者宅の搜索や動産の差押えなどの法的処分を行い滞納整理を進めており、当日は搜索などにより、滞納者宅から差し押さえられた家電・日用品など79品の公売物件が出品され、約100人が来場しました。

この日の落札金額268,389円は、出品した市町村で滞納となっている市町村税に充てられました。

村では今後も熊本県及び阿蘇管内市町村と一体となって、同様の取り組みを行っていきます。



公売会で差し押さえ公売物件を品定めする参加者

9/19~21 絵本とふれあいを

第9回南阿蘇えほんのくに誕生祭

9月19日から21日にかけて、高森町と本村を会場に「第9回南阿蘇えほんのくに誕生祭 笑顔をとどけるブルービーフェスタ」が開催されました。

20日は、中松地区にある「絵本のおうち」で、さまざまなイベントを実施。ブックカバーでエコバッグを作る体験もあり、参加者は、スタッフに手ほどきを受けながら、ていねいに作り上げていました。そのほか「海のむこうの絵本展・平和の絵本展」で、世界に1,000冊しかない貴重な絵本など60冊も展示されました。



エコバッグ作りに挑戦する参加者

9/18 難しいけど頑張りました

クラブ南阿蘇「ぬいぬいクラブ」家庭科授業サポート学習

南阿蘇西小学校（後藤廣校長）5年生（35人）の家庭科で、クラブ南阿蘇の「ぬいぬいクラブ」（代表 鷲崎光子さん）6人と同校保護者1人が参加し、裁縫のサポート授業を行いました。

子どもたちは、「ティッシュケース」や「ペンケース」などの小物作りで「玉結び」や、「本返し縫い」などに挑戦。分からないところを聞いたり、子ども同士手伝い合ったりしながらていねいに作り上げていました。

作品を完成させ、甲斐ひなたさんは、「返し縫いが難しかったです」と感想を話してくれました。



縫い方を教えてもらう南阿蘇西小の子どもたち

9/22 家族と一緒に100歳お祝い

今村ナツさん（第八駐在）

今村ナツさん（第八駐在）が100歳の誕生日を迎えられ、そのお祝いが、デイサービスを利用されている村社会福祉協議会で行われ、内閣総理大臣表彰と、村から表彰状が送られました。

今村さんは、大正3年9月5日生まれ。当日は、ご家族がたくさん駆けつけ、にぎやかなお祝いとなりました。

長野村長は、「長生きも元気であってこそ、その喜びも大きいと思います。日頃、健康に充分注意いただいて長生きしてください」とお祝いの言葉を述べました。



100歳を迎えられた今村ナツさん（前段中央）とご家族のみなさんと長野村長

9/25～26 スポーツ推進委員の功績が認められ

丸野健一郎さん（立野）

「第55回全国スポーツ推進委員協議会」が岩手県盛岡市で開催され、丸野健一郎さん（立野）が、スポーツ推進委員功労者表彰を受賞されました。この賞は、全国スポーツ推進連合の普通会員で、スポーツ推進委員としての活動年数が前年度末までに10年以上、表彰日現在満45歳以上の人に贈られるもの。

丸野さんは長年、生涯スポーツの普及促進・啓発に貢献され、各種大会において企画・準備運営などに積極的に取り組み、また、伝統芸能の伝承（阿蘇五岳太鼓）を次世代の子どもに指導されるなど青少年の育成にも尽力されていることが認められての表彰となりました。



スポーツ推進委員功労者表彰を受賞された丸野健一郎さん

9/20 「よかバイ、よかバイ」の掛け声で

第2回長陽夏祭り

平成24年3月に長陽西部小学校が閉校したことで、地域の方たちが集まる姿を見かけなくなったことから、東海大学阿蘇キャンパスの学生や地元の黒川区住民らで組織する実行委員会が、祭りを通して地域を盛り上げようと、昨年に引き続き同小学校を利用して、2回目の「長陽夏祭り」を開催しました（村の頑張る地域支援補助金活用）。

今回は、台風の影響で8月開催予定の夏祭りは9月に延期して行われました。

祭りでは、カラオケ大会や花火、「長陽自慢」などが行われ、子どもたちから年配の方まで多くの参加者が、祭りを楽しんでいました。



カラオケ大会で自慢の歌声を披露する参加者

9/24 さまざまなことに役立ててください

村ヘタオルを寄贈

地域貢献の一環として、災害など、さまざまな時に役立ててもらおうと、熊本市中央区の株式会社 SYSKEN（旧社名西日本システム建設）、取締役副社長の福元秀典さんが久木野庁舎を訪れ、タオルを400枚寄贈し、長野村長へ手渡されました。

同社は、京都市にも600枚タオルを寄贈され、県内では、2年前豪雨災害の被害を受けたということもあり本村が初めてでした。

福元さんは、「さまざまな地域に貢献したい。災害のみではなく、役に立てることがあれば使用してください」と話されました。



取締役副社長の福元さんからタオルを受け取る長野村長



9/26 ビッグイベントパトロール出発式 南阿蘇村防犯パトロール隊

9月27日（土）に県野外劇場「アスペクタ」で開催される大型イベントに、多くの方が来村されることから、犯罪の未然抑制、注意喚起を目的に南阿蘇村防犯パトロール隊のビッグイベントパトロール出発式が久木野庁舎で行われました。

式には、高森警察署の吉田至署長をはじめ、生活安全課員、村内駐在所署員、村内4地区の村防犯パトロール隊員らが集まりました。

出発にあたり村防犯パトロール隊の笠野真喜隊長が「地域住民の安心安全のためパトロールに出発します」と宣誓。隊員らは青色灯回転灯を装備した4台のパトロールカーに乗車して、村内のパトロールに出発しました。



出発式であいさつする吉田至高森警察署長と村防犯パトロールの皆さん

9/26 戦争の悲惨さ後世に 戦没者追悼式

平成26年度の戦没者追悼式が、ホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、戦没者の遺族や関係者138人が参列しました。

長野村長の追悼の辞では、「今日の平和で豊かな社会は、祖国の興隆と、同胞の安泰を念じつつ、国のみ盾として、散華されましたご英霊、更に、残され苦難の道を進まれた、ご遺族皆さまの、尊い犠牲の上にあることを忘れてはなりません」と述べ、参列者一人一人が献花台に花を手向けました。遺族代表あいさつでは、村遺族会会長の荒牧仁さん（第四駐在）が「戦争の悲惨な教訓を後世に伝えていきたいと思います」と述べられました。



一人一人献花台に花を手向ける参列者

9/28 楽しく頑張りました 第10回南阿蘇村福祉運動会

「第10回南阿蘇村福祉運動会」が白水体育館で開催され、約800人（60歳以上）の選手たちがさわやかな汗を流しました。

選手宣誓では、一関一区の本田智博さんと河野昭子さんが「我々選手一同は、スポーツマンシップにのっとり正々堂々と競技することを誓います」と力強く宣誓。

競技は、大きなボールを転がしてつなぐ「ボールリレー」や、白水保育所の園児たちを相手に「ジャンケンポン」など全7競技。

会場の体育館内は、笑い声や声援で盛り上がりました。



大きなボールを転がす「ボールリレー」

9/27 阿蘇の農業の魅力をアピール 第2回 ASO 世界農業遺産マルシェ

阿蘇が農業遺産に認定されたことを記念して、ASO 農業遺産マルシェ（同実行委員会主催）が、あそ望の郷くぎので開催されました。

これは、世界農業遺産認定の普及啓発と村の魅力を発信することを目的に、村の「頑張る地域支援補助金」を活用して行われたもの。

今年のテーマは「水」。会場では、白川水源や高森町の湧水トンネルなどの水の飲み比べのほか、「新米の振る米」も行われ、行列ができていました。会場では、くまモンも登場。農産物や手作り加工品などが販売され阿蘇の農業の魅力をアピールしていました。



湧水の飲み比べで投票する来場者

10/9 事業の完了を報告 九州北部豪雨災害関連緊急砂防事業完了報告会

平成24年7月の九州北部豪雨災害において、阿蘇地域では死者・行方不明者25人の甚大な土砂災害が発生。

県では災害発生直後から阿蘇管内で15カ所、16基の砂防堰堤を建設する災害関連緊急砂防事業に着手し、災害発生から2年余りを経て、本年9月に全箇所を事業完了し、その報告会が、阿蘇市坂梨地区で行われました。式には、同地区の地域住民など70人が参加。本村からも新所区長の丸野健雄さんや、前区長の吉野輝さんなどが出席されました。式の終わりには、坂梨保育園児によるバルーンリリースが行われ、ハトの形をしたバルーンが空へ向かって飛び立っていました。



一斉に飛び出すバルーンリリース

10/6 ごみはきちんと分別します 久木野小学校「環境出前講座」

県産業廃棄物協会が、県下の小学生を対象に行っている「環境出前講座」として、久木野小学校（東光洋校長）の4年生に出前講座を行いました。この取り組みは、同協会が不法投棄撲滅のため、幼少期から環境教育を行うことを目的としているもの。

子どもたちは、同協会青年部の担当講師の方から、家庭から出るごみの量や種類を学び、リサイクルできる資源も分別しだいではごみになってしまうことや、ごみの正しい分別方法などを学びました。講座の最後には、子どもたち全員で、「約束の木」を作り、一人一人環境のためにできることを考え宣言しました。



ごみの分別に挑戦する子どもたち

10/1~14 村全体が美術館に 南阿蘇村谷人たちの美術館

村全体を美術館に見立てた「南阿蘇村谷人たちの美術館」が村内46カ所の工房やアトリエで開催されました。

今年は10周年の節目の年となり、記念イベントとして9月21日には、神楽の里公園「神楽殿」でファミリー弦楽コンサートを開催。コントラバスや、バイオリンの楽器を中心に、子どもたちに人気のあるアニメなどの楽曲が演奏されました。

10月1日には、「あそ望の郷くぎの」で、オープニングセレモニーも行われ、同美術館実行委員長の中尾和弘さん（第八駐在）や長野村長など来賓によるテープカット、来場者へ粗品進呈もあり、多くの人々がイベントのオープンを祝いました。



観客を魅了したプロの演奏（ファミリー弦楽コンサート）

オープニングイベントでテープカットを行う関係者



パッチワークキルト作品が数多く展示された「キルトハウス風の道」

白磁の食器や小物に花や果物などが色鮮やかに手描きされた数々の作品が並んだ「Cielo」

